

( 1 ) 工事コストの低減  
技術開発の推進 ( 施策番号 )

塩水に強い「かごマット」の採用によりコスト縮減

関東地方整備局利根川下流工事事務所 河口周辺自然地再生工事

【 施策の概要 】

かごマット工法は、多孔質構造の護岸であり、抽水域に良好な生態環境を創出できることから、低水護岸に多用されています。

従来、かごマット工法は、河口付近等の塩分濃度が高い区間では鉄線が腐食することから使用適用外となっていました。

しかし、今回、従来のメッキ鉄線にポリエチレン系合成樹脂を被覆する製品が開発されたことにより、「河川水の塩分濃度が高い区間」においてもかごマット工法の採用が可能となったことにより、工事コストの縮減が図られました。

【 施策のポイント 】

被覆鉄線を使用したかごマットの採用により、従来の自立式矢板形式の護岸と比較して

施工費の縮減

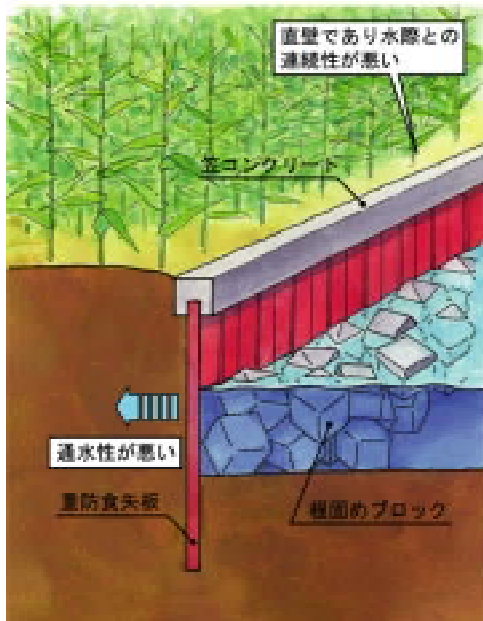
施工期間の短縮

が図られます。

この結果、従来工法と比較して約 8 . 8 % の工事コスト縮減及び従来工法の施工日数 3 . 5 ヶ月に対して 2 ヶ月と 1 . 5 ヶ月の工期短縮が図られました。

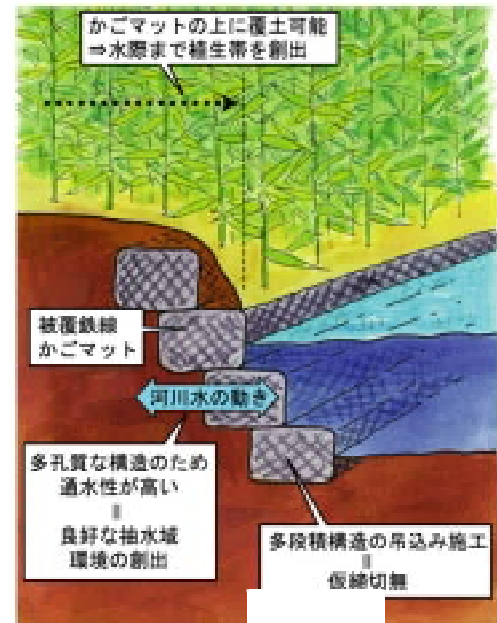
【 施策の実施状況・イメージ図 】

従来工法



重防食矢板+根固めブロック

新工法



被覆鉄線かごマット

コスト縮減

|| 新技術開発

